

事務事業調書

平成26年度

事業No	3	課	秘書課	係	広報広聴係	起案者	田中太視
						決裁者	宮川守
事務事業名	広報あんじょう発行事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 1 情報化 1 情報提供による市民サービスの向上 1 情報提供の充実				予算科目(会計)		一般会計			
					予算科目(款・項・目)		10-5-10			
					総合計画以外の計画					
					関連する総合計画の施策					
					性質区分		市の内部事務事業			
根拠法令	無									
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	無									
陳情・市民要望	無									
実施方法	直営		委託先							
実施期間	開始	平成元年度		経過	25年目		終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		市民が			~になる		読みやすい広報紙を通じて、市政情報を容易に得ることができる。		
事務事業の内容	市役所各課、関係機関、団体から提出される原稿や広報担当者が独自に取材した内容を、特集・お知らせ・その他のページの記事とし、広報あんじょうを作成・発行します。									
改善・対策の履歴	・平成22年から広報綴込用表紙広告掲載を実施しました。 ・同年から、広報の特集記事作成に関し、関係する市民や市民団体と意見交換や協議を行い、紙面づくりを進めました。 ・平成23年10月1日号から、広報に1部あたりの単価を表示しました。平成23年度から議会だよりを分離し、見やすくしました。 ・平成24年度から、市民のひろばを2ページ減らし、コストを抑えました。 ・平成25年4月1日号から新たな財源確保のため、広報あんじょう裏表紙下半分に有料広告事業者を掲載しました。									

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	60,651	60,987	69,591	66,805	71,098
財源計	43,011	43,347	48,801	46,015	50,308
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	240	1,300	2,498	1,900
	一般財源	42,771	42,099	47,501	43,517
受益者負担金	0	0	0	2,498	1,900
職員人件費 (従事職員数)	17,640 (2.80)	17,640 (2.80)	20,790 (3.30)	20,790 (3.30)	20,790 (3.30)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	広報紙の発行	見込	1,668,000.00	1,692,000.00	1,668,000.00	1,668,000.00
			実績	1,620,500.00	1,637,700.00	1,656,400.00	
	指標名 (単位)	発行部数(部)	活動の総事業費 (千円)	60,651	60,987	66,805	
			活動にかかるコスト (千円)	0.04	0.04	0.04	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	指標名(単位)		目標	0.00	70.00	70.00	70.00
	アンケートによる広報の満足度等(%)		実績	0.00	78.00	72.60	
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況		達成	達成	
		0.00					
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況				

5 成果1、2以外の成果	
成果	・ 広告入り広報綴り表紙の入札により、実質無料作製でき、また、24万円の収入を得ることができました。 ・ 広報あんじょう裏表紙有料広告掲載事業者を募集し、225万8千円の収入を得ることができました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析			内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト			・広報印刷部数について、毎回細かに必要部数を把握し、100部単位での調整することで、広報紙の配布残部数を最小限にし、無駄な印刷を抑えました。 ・掲載記事を簡潔な表現とし、ページ数を極力抑制することで、単位コストの上昇抑えました。
	成果		・まちかど座談会や施設めぐりの参加者520人に広報の満足度や必要性についてのアンケートを実施しました。提出いただいた391人の内、284人(72.6%)から「満足している」「必要である」という回答をいただきました。

7 所属長の改善案			コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
			・今後も情報を選別し、ページ数を抑制しながら、市民に親しまれる、手にとって読んでもらえる広報紙づくりを目指します。 ・広報あんじょうの広告掲載による歳入を得ることにより、財源確保に努めます。

8 方向性			必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性
維持・継続			今後も、市民に親しまれる広報紙を目指し、必要な情報を積極的に配信していきます。

事務事業調書

平成26年度

事業No	4	課	秘書課	係	広報広聴係	起案者	林有紀
						決裁者	宮川守
事務事業名	市政情報提供事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 1 情報化 1 情報提供による市民サービスの向上 1 情報提供の充実			予算科目(会計)		一般会計	
				予算科目(款・項・目)		10-5-10	
				総合計画以外の計画			
				関連する総合計画の施策			
				性質区分	市の内部事務事業		
根拠法令	無						
法定受託事務	無						
公約・議会答弁	無						
陳情・市民要望	無						
実施方法	直営	委託先					
実施期間	開始	平成元年度	経過	25年目	終了	期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	市民が			~になる	各種媒体を利用し、積極的に情報を得ることができる。	
事務事業の内容	①テレホンガイドサービスにより市政情報を24時間提供します。 ②ガイドマップ（安城市の地図と各施設の紹介を簡単な小冊子）を製作し、転入者等に配布します。 ③市政と暮らしのしおりを添付した市民手帳を希望者に販売します。 ④年間の主な行事の映像記録を作成し、市民に貸し出したり、ホームページで配信したりします。 ⑤市勢要覧を作成します。						
改善・対策の履歴	・平成19年度にポルトガル版を始めて作成しました。 ・平成22年度から施設めぐり参加者にアンケートで意見を聴きました。 ・平成22年度から市民の声を受け、鉛筆付きとしました。 ・平成23年度から販売価格を作成(入札)価格の単価としました。 ・平成24年度から記録媒体を16mmフィルムからデジタル（ブルーレイおよびDVD）に変更しました。 ・平成24年度から市公式ウェブサイト「動画で見る安城市」のページを作成しました。						

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	13,185	4,959	5,925	4,177	5,721
財源計	11,925	3,699	3,972	2,224	3,768
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	482	456	438	463
	一般財源	11,443	3,222	1,786	3,305
受益者負担金	0	0	0	438	463
職員人件費 (従事職員数)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)	1,953 (0.31)	1,953 (0.31)	1,953 (0.31)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	テレホンガイド	見込	270.00	270.00	270.00	275.00
			実績	270.00	270.00	275.00	
	指標名 (単位)	市政情報件数(件)	活動の総事業費(千円)	63	63	63	
			活動にかかるコスト(千円)	0.23	0.23	0.23	
活動2	活動名 (活動内容)	施設めぐり	見込	150.00	150.00	150.00	150.00
			実績	175.00	135.00	90.00	
	指標名 (単位)	参加人数(人)	活動の総事業費(千円)	252	252	378	
			活動にかかるコスト(千円)	1.44	1.87	4.20	
活動3	活動名 (活動内容)	市政映画	見込	2.00	1.00	1.00	1.00
			実績	2.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	作成本数(数)	活動の総事業費(千円)	5,576	2,174	2,268	
			活動にかかるコスト(千円)	2,788.00	2,174.00	2,268.00	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	テレホンガイドへのアクセス件数(件)			目標	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
				実績	1,035.00	848.00	839.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	未達成	未達成	
	市政映画へのアクセス件数(件)			目標	500.00	500.00	500.00	500.00
成果2				実績	311.00	694.00	1,468.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	達成	達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	平成25年度は、施設めぐりを7回開催し、90人の参加者がありました。特に防災への関心の高まりから、防災倉庫の見学希望が多くありました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	平成24年度から記録媒体を16mmフィルムからデジタル（ブルーレイおよびDVD）に変更することにより、契約方法を随意契約から指名競争入札に変更しました。それによって、平成25年度はさらに入札価格が下がり、事業費の削減を図ることができました。
成果	平成24年度から市公式ウェブサイト「動画で見る安城市」のページを作成したことで、市政映画の情報検索がしやすくなり、その結果、アクセス件数が増加しました。さらに、平成25年度は、「動画で見る安城市」のページ内に新美南吉の映像等をリンクさせるなどページ内容を充実させた結果、市政映画のアクセス件数が増加しました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
- 市政映画のアクセス件数が今後も増加するよう、ページ内容の充実や市公式フェイスブック等による情報発信に努めていきます。 - 施設めぐりの参加者アンケートでいただいた市政情報に関する意見等を参考に、より多くの市民に有効な情報発信を検討していきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	市政映画の制作コストは削減できたので、今後は市政映画を広く市民に知ってもらうため、ページ内容の充実や市公式フェイスブック等による情報発信等継続的かつ積極的に進めます。

事務事業調書

平成26年度

事業No	5	課	秘書課	係	広報広聴係	起案者	沓名聡
						決裁者	宮川守
事務事業名	ホームページ(望遠郷)事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 1 情報化 1 情報提供による市民サービスの向上 1 情報提供の充実				予算科目(会計)		一般会計	
					予算科目(款・項・目)		10-5-10	
					総合計画以外の計画			
					関連する総合計画の施策			
					性質区分		市の内部事務事業	
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	直営		委託先					
実施期間	開始	平成08年度		経過	18年目		終了	期間
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		市民、安城市の情報を必要とする人が			~になる		ウェブサイトによりいつでも最新の情報を得ることができる。
事務事業の内容	ウェブサイトにより、多量の情報を迅速かついつでも見られるよう提供します。							
改善・対策の履歴	・平成21年度からバナー広告掲載を開始し、掲載料を財源に充当しました。 ・平成22年度からCMS導入し、アクセシビリティ（使いやすさ、見やすさ）を向上させました。 ・平成22年度から緊急を要するメール回答のため、回答方法を広報広聴係経由から各課、施設直接対応の方法に改めました。 ・平成23年度からツイッターやユーーストリームを利用し、情報発信を開始しました。 ・平成24年度にウェブサイトモニター制度を試行しました。 ・平成25年度から市公式フェイスブックを開設し、新たな情報発信を開始しました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	5,778	5,773	8,080	8,055	9,337
財源計	1,998	1,993	2,410	2,385	3,667
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	2,530	4,680	2,400	2,498
	一般財源	-532	-2,687	10	-113
受益者負担金	0	0	0	2,498	2,160
職員人件費 (従事職員数)	3,780 (0.60)	3,780 (0.60)	5,670 (0.90)	5,670 (0.90)	5,670 (0.90)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	最新情報の更新	見込	7,500.00	7,500.00	7,500.00	7,500.00
			実績	7,944.00	11,420.00	9,888.00	
	指標名 (単位)	更新件数(件)	活動の総事業費 (千円)	1,575	1,575	1,575	
			活動にかかるコスト (千円)	0.20	0.14	0.16	
活動2	活動名 (活動内容)	携帯サイトの項目数	見込	11.00	12.00	12.00	14.00
			実績	12.00	14.00	14.00	
	指標名 (単位)	件数(件)	活動の総事業費 (千円)	882	882	1,260	
			活動にかかるコスト (千円)	73.50	63.00	90.00	
活動3	活動名 (活動内容)	トップページのデザイン変更	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	件数(件)	活動の総事業費 (千円)	63	63	315	
			活動にかかるコスト (千円)	63.00	63.00	315.00	

4 成果指標と実績の推移				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	指標名(単位)			目標	1,205.00	1,210.00	1,215.00	1,220.00
	トップページのアクセス件数(千件)			実績	1,022.00	1,074.00	1,110.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成	
				目標				
成果2				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果	
成果	- 平成25年度にウェブサイトモニターを5人選任し、年3回のウェブサイトチェックを行いました。そのチェック内容に基づき、ウェブサイトを修正しました。 - 市政等の情報提供ツールの一つとして、市公式フェイスブックを開設しました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	各課の職員を対象としたCMS（ウェブページ作成等）操作研修を外部講師ではなく広報広聴係職員が実施することにより、経費の削減を図ることができました。
成果	- 新美南吉に関する情報提供やフェイスブックでの情報発信などを進めたことにより、アクセス件数は対前年36000件増加しました。 - 市公式フェイスブックを開設したことにより、市のイベント情報等を早期に市民へ発信することができました。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
- 昨年度に引き続き、新美南吉や都築弥厚等に関する情報提供、市公式フェイスブックを利用した情報発信に努めていきます。 - 今後もウェブサイトモニターの意見を聴き、よりわかりやすい、魅力的なウェブサイトの構築に努めます。 - 市公式フェイスブックの情報内容を充実していくために、さらなる情報の収集に努めていきます。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	ウェブサイトモニター制度等により、使いやすい魅力的なウェブサイトを目指します。市公式フェイスブック等を活用し、より多くの情報を市民へ発信していきます。

事務事業調書

平成26年度

事業No	6	課	秘書課	係	広報広聴係	起案者	杉浦庄太郎
						決裁者	宮川守
事務事業名	マスメディア情報発信事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 1 情報化 1 情報提供による市民サービスの向上 1 情報提供の充実			予算科目(会計)		一般会計	
				予算科目(款・項・目)		10-5-10	
				総合計画以外の計画			
				関連する総合計画の施策			
				性質区分	市の内部事務事業		
根拠法令	無						
法定受託事務	無						
公約・議会答弁	無						
陳情・市民要望	無						
実施方法	直営		委託先				
実施期間	開始	平成元年度		経過	25年目	終了	期間
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	市民が			~になる	新聞紙等のマスメディアを通じ、市民サービス情報を迅速に受信できる。	
事務事業の内容	各課で市民に知らせたい事業、行事、通知等ある場合、報道機関に情報発信を行います。 情報発信先として、新聞は中日・朝日・読売・毎日・中部経済、テレビは中部日本放送、日本放送協会、東海テレビ、中京テレビ、地元ケーブルTVはキャッチ、FM放送はピッチFM。それ以外に時事通信社にも情報発信しています。						
改善・対策の履歴	・平成20年から中京テレビ、時事通信にも新たに追加して、FAXを送信しました。 ・平成21年8月から東海テレビも定例記者会見に参加しました。 ・平成24年度からPitchFMで30秒CMを開始しました。						

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	2,673	2,673	3,119	3,051	3,119
財源計	153	153	221	153	221
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	153	221	153	221
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費(従事職員数)	2,520 (0.40)	2,520 (0.40)	2,898 (0.46)	2,898 (0.46)	2,898 (0.46)
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	報道機関配布件数	見込	500.00	500.00	500.00	500.00
			実績	510.00	526.00	510.00	
	指標名 (単位)	回数(回)	活動の総事業費(千円)	945	945	1,134	
			活動にかかるコスト(千円)	1.85	1.80	2.22	
活動2	活動名 (活動内容)	市政広告企画原稿作成	見込	30.00	30.00	30.00	30.00
			実績	31.00	30.00	30.00	
	指標名 (単位)	回数(回)	活動の総事業費(千円)	1,098	1,098	1,287	
			活動にかかるコスト(千円)	35.42	36.60	42.90	
活動3	活動名 (活動内容)	キャッチ報道件数ピッチ出場回数	見込	450.00	450.00	500.00	500.00
			実績	484.00	585.00	645.00	
	指標名 (単位)	回数(回)	活動の総事業費(千円)	630	630	630	
			活動にかかるコスト(千円)	1.30	1.08	0.98	

4 成果指標と実績の推移				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	指標名(単位)			目標	740.00	760.00	780.00	800.00
	市政情報の新聞への掲載回数(回)			実績	759.00	760.00	789.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
				目標				
成果2				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

成果	5 成果1、2以外の成果							
	・平成25年度は新美南吉生誕100年関連の情報を積極的にマスメディアに提供することで、新美南吉に関する取り組みを多くの人に知らせることができました。							

6 各活動にかかるコストと成果の分析								
活動コスト	内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等							
	・新聞やテレビ放送に積極的に情報配信を行いました。 ・無料の新聞広告やケーブルテレビ、コミュニティFMなどを最大限に活用し、コスト削減に努めました。							
成果	・タイムリーな話題や、行政からのお知らせなどをマスメディアを活用して多くの市民に発信しました。							

7 所属長の改善案								
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案								
・マスメディアの情報発信力を有効に活用するため、今後も各課に情報提供を促し、積極的な情報発信に努めていきます。								

8 方向性								
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性								
維持・継続		多くの市民に市政情報を周知するため、マスメディアの情報発信力を有効に活用し、今後も継続的かつ積極的に市政等に関する情報を発信します。						

事務事業調書

平成26年度

事業No	7	課	秘書課	係	広報広聴係	起案者	満島美佐子
						決裁者	宮川守
事務事業名	広聴事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 1 情報化 1 情報提供による市民サービスの向上 2 広聴機能の充実				予算科目(会計)		一般会計	
					予算科目(款・項・目)		10-5-10	
					総合計画以外の計画			
					関連する総合計画の施策			
					性質区分		市の内部事務事業	
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	直営		委託先					
実施期間	開始	平成元年度		経過	25年目		終了	期間
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		市民の意見・提言等を			~になる		施策等へ反映する。
事務事業の内容	市民からの意見・要望を聴取する機会を設け、市民ニーズを把握します。 ①ご意見BOX（切手不要の専用用紙による） ②市長への手紙（一般封書、葉書等による） ③市長へのメール（ウェブサイトからのメールによる） ④まちかど座談会（隔年にて地域住民との懇談）・市政懇談会（隔年にて各種団体代表者との懇談） ⑤政策提言懇談会（市政功労者との年1回の懇談） ⑥市長とティーミーティング ⑦eモニター制度によるアンケート							
改善・対策の履歴	・平成21年度から市施設や窓口にご意見ボックス用紙を配置しました。 ・ウェブサイトから各課、市長へ直接メールでご意見をいただいています。 ・新たな広聴事業として平成23年度から「市長とランチミーティング」始めました。平成24年度からは、より懇談しやすい会とするため「市長とティーミーティング」に変更しました。 ・平成24年度に、eモニター制度を試行しました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	6,508	6,905	7,747	7,364	8,384
財源計	208	605	1,258	875	1,895
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	208	605	1,258	875
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	6,300 (1.00)	6,300 (1.00)	6,489 (1.03)	6,489 (1.03)	6,489 (1.03)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	市長への提言方法のPR	見込	1.00	1.00	2.00	2.00
			実績	1.00	2.00	2.00	
	指標名 (単位)	広報回数(回)	活動の総事業費(千円)	63	63	126	
			活動にかかるコスト(千円)	63.00	31.50	63.00	
活動2	活動名 (活動内容)	ご意見BOX	見込	39.00	39.00	39.00	39.00
			実績	39.00	39.00	39.00	
	指標名 (単位)	専用紙設置数(箇所)	活動の総事業費(千円)	945	945	945	
			活動にかかるコスト(千円)	24.23	24.23	24.23	
活動3	活動名 (活動内容)	まちかど座談会・市政懇談会(隔年実施)	見込	13.00	9.00	10.00	9.00
			実績	13.00	9.00	10.00	
	指標名 (単位)	回数(回)	活動の総事業費(千円)	3,180	3,329	3,167	
			活動にかかるコスト(千円)	244.62	369.89	316.70	

4 成果指標と実績の推移			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	指標名(単位)		目標	200.00	200.00	200.00	200.00
	メール・ご意見BOX等の受付件数(件)		実績	233.00	158.00	305.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況	達成	未達成	達成	
		0.00					
成果2	まちかど座談会又は市政懇談会の参加人数(人)		目標	550.00	72.00	570.00	72.00
			実績	667.00	76.00	430.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況	達成	達成	未達成	
		0.00					

5 成果1、2以外の成果	
成果	・平成25年度「市長とティーミーティング」では、聴覚障害者支援団体や被災地との交流を進める団体などと懇談し、障害者から見た安城市や被災地の現状などについて意見・提言等聴くことができました。 ・初年度(平成24年度)の登録者数619人から平成25年度は1069人まで登録者数を増やすことができました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	・ご意見BOX等で市長へ寄せられた意見を市公式ウェブサイトや広報あじょうへ公表する際に、市長への提言方法の啓発も合わせて行いました。 ・なお、意見等の公表時に合わせて啓発を実施することで活動コストを削減しました。
成果	・市公式ウェブサイトや広報紙において、市長への提言方法の啓発を行ったことにより、メール・ご意見BOX等の受付件数は増加しています。特にメールに関しては、日時を問わず意見等を送信できることから、多くの市民が利用されました。 ・平成25年度は、eモニターに登録いただいた1069人から、年14回のアンケートに対する多くの意見を伺いました。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
・eモニター制度では、登録者1069人、年14回のアンケート実施しました。より、有効な制度とするために、平成26年度ではさらに登録者を増やし、かつ登録者の世代・性別の偏りが少なくなるよう啓発を進めていきます。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	市民が意見・提言等を直接行政に伝えるため、また行政が施策等へ反映すべき市民ニーズを把握するため継続します。